

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年5月20日（金）

第623号 本号3頁

1200万人の署名積み上げ、 「2000万人統一署名提出」集会開催

戦争法の廃止を求める「2000万人統一署名提出」集会が19日、衆院第一議員会館で開催されました。

冒頭、あいさつした総がかり行動実行委員会の福山氏は「集まった1200万署名には一人ひとりの平和への願いが込められています。夏の参院選に向けても『野党は共闘、選挙に行こう、政治を変えよう』のスローガンのもと頑張ろう」と訴えました。

会場の正面に、署名を共同で呼びかけた29団体はじめ全国で集約された1200万人の署名の段ボールが積み上げられました。その前に駆けつけた多数の国会議員が並び、民進党岡田克也代表、日本共産党志位和夫委員長、社民党吉田忠智党首に署名が手渡されました。その後、参加した議員全員にも署名が手渡されました。生活の党玉城・デニー議員（途中退席）には、全視協田中代表理事から点字署名が手渡されました



署名を受け取った民進党の岡田代表は、「しっかりと受け止め、戦争法廃止に向けて参院選勝利を勝ち取りたい」と、日本共産党の志位委員長も「戦争法廃止、参院選挙勝利のため、野党4党心ひとつにして頑張りたい」と語り、社民党の吉田党首も同様に戦争法廃止に向けた決意を語りました。

集会には署名呼びかけ団体の他、大阪からなど全国各地で署名に取り組んだ人々も参加しました。

夜には「19日行動」

毎月19日に開催されている「安倍内閣退陣、参院選野党勝利を」掲げて「19日行動」が国会前で開催されました。集会には日本共産党志位委員長、社民党吉田党首、民進党小川参議院議員と、沖縄選出の糸数慶子参議院議員があいさつ。糸数議員は20歳の女性の遺体が見つかり、元海兵隊員が逮捕された事件を告発しました。

2016年憲法記念日集会！

西日本の5・3憲法集会等主なりくみを紹介します。

大阪2万人・兵庫1万1千人

静岡 6回目の意見広告に、過去最高の5,172人が賛同

憲法記念日の3日、静岡県内の「9条の会」は、朝日新聞県内版1頁全面を使い、安保法制（戦争法）廃止を求める意見広告を掲載しました。今年で6回目の意見広告に92団体が参加。過去最高の5,172人が賛同者となりました。

大見出しで、「私たちは安保法制(戦争法)の廃止を訴えます!」、そして「憲法9条が禁じている武力行使をおこなう戦争法を野党共闘で廃止し、国民の声で動く政治を実現しよう」と呼びかけています。また、「だれの子とももころさせない」の言葉とともに「9」の風船を持ったかわいい子どもとクマのイラストや、第9条の全文も掲載しています。

県内では、この朝日新聞以外にも、県西部地域の9条の会が中日新聞西部版に同様の意見広告を出し、伊豆、伊東の両市の9条の会がそれぞれ地方紙に独自の意見広告を掲載しました。

大阪 おおさか総がかり集会に2万人が参加 統一署名150万以上

5月3日の憲法記念日、扇町公園にて開催した「5.3おおさか総がかり集会」には、団体、グループ、草の根から幅広い市民2万人が参加し、「戦争法廃止、野党は共闘」の熱い思いを共有しました。集会では大阪弁護士会会長 山口健一さんが挨拶。民進党、共産党、社民党、生活の党からそれぞれが連帯スピーチに立ち、壇上で全員揃って手を携えて参加者の「野党は共闘」の思いに応えました。リレートークでは大学生、高校生、ママの会など若い人が自らのことばで憲法の大切さと憲法をないがしろにする安倍政権を選挙で変えようと訴えました。「おしつけ憲法だというのが、安倍政権に私たちがこの憲法をおしつけよう」(高校生男子)、などの発言に参加者からは何度も「そうだ」の声があがりました。

集会後、3コースに分かれてパレードし、「戦争法廃止、平和憲法守ろう」のコールを市内各所に響かせました。



京都 3000人が集結し、憲法9条堅持などを訴える

京都市東山区であった憲法9条堅持などを訴える集会「生かそう集会 in 京都」に、3000人を上回る市民が集結。集団的自衛権の一部行使を可能とする安全保障関連法を「違憲」と指摘すると共に、今夏参院選での同法の廃止あるいは見直しを共通公約とした野党共闘を求めました。大学教授や学生など参加者が、戦争放棄と戦力不保持を規定した憲法9条を今後も改正することなく守っていくことなどを訴えました。

集会では、山室信一京都大教授が講演し、現政権が集団的自衛権の一部行使を容認するために、歴代政権の憲法解釈の変更を閣議決定で行ったことを「憲法へのクーデターだ」と述べ、国民が憲法によって国家権力を縛る「立憲主義」の重要性を説きました。

2歳の長男と参加した小西亜季さん(34)は「自民党の改憲草案を読んで怖くなった。息子が大人になるころ、日本が当たり前のように戦争をしている国になってしまうのでは」と語りました。

兵庫 3団体の統一集会に1万1千人!

三ノ宮東遊園地で「5.3兵庫憲法集会」が開催されました。1000人委員会関連団体、9条の心ネットワーク、憲法改悪ストップ県共同センターの3団体の統一集会です。主催者あいさつでは羽柴修弁護士が、「共同が実現し賛同団体が400を超えた。参院選は兵庫県で野党2候補を当選させよう」と力強くアピールしました。

メインスピーカーの広島市元市長の秋葉忠利氏は、ケリー米國務長官が広島を訪れたこと、オバマ大統領も今度の来日で初めて広島を訪れることが実現しそうな情勢を踏まえ、世界は着実に非核の道を進んでいることに確信をもとう、安倍政権の集団的自衛権のゴリ押しを認めず、憲法を守ろうと呼びかけました。参加者はなんと1万1千人!兵庫県の集会では近年では最高の参加者でした。

集会後のパレードでは、3コースに分かれ、シュプレヒコールが町中にこだましました。

福岡 俳優の宝田明氏「守り続けよう今の平和を」と熱唱

福岡市で、9条の会福岡県連絡会が憲法記念日のつどいを開き、参加者800人が俳優の宝田明氏の講演に聞き入りました。

終戦後、中国・ハルピンから引き揚げた宝田氏は、出征した兄を捜そうと連行される日本兵に近づきソ連兵に銃撃されたことや、暴行される女性を見た経験に触れ、「戦争は憎悪しか生まない」と語りました。そして、参院選で戦争を起こす政党には投票しないと表明。次世代に憲法9条をバトンとして渡せる時代をつくるべきと訴え、「守り続けよう今の平和を」と熱唱しました。

また、北九州市のあきらめない北九州ネットは、小倉北区で憲法市民集会を開きました。土砂降りの中、600人が参加しました。市内の若者でつくるFymkita9らのリードでコールしました。

佐賀 琉球大高良鉄美教授、自民党改憲草案は「国民主権を奪う」と指摘

戦争をさせない佐賀県1000人委員会は、「5・3 憲法講演会」を開き、約400人が参加しました。講演した琉球大学法科大学院の高良鉄美教授は、自民党改憲草案の問題点を指摘。「国民主権を奪い、明治憲法に戻ってしまう」と述べました。

オスプレイ配備反対地域住民の会の古賀初代会長は諫早湾干拓事業にふれ、「佐賀空港へのオスプレイ配備でこれ以上、海を汚すことは許されない」と批判しました。

集会後、参加者は佐賀市内をデモ行進しました。

長崎 300人が参加し、「戦争法廃止!9条を守れ!ながさき集会」を開催

長崎では300人が参加し、「戦争法廃止!9条を守れ!ながさき集会」が開催されました。主催は「ながさき9条フェスタ実行委員会」と、ながさき市民連合。「長崎の学者・研究者の会」の芝野由和代世話人が主催者あいさつで、被爆者、女性、弁護士らがリレートークし、昨年的高校生平和大使の内野璃奈さんは「この国が戦争の加害者になる可能性がある。とても恐ろしい」と語りました。

参院長崎選挙区の野党統一候補の西岡秀子氏のメッセージが紹介されました。

県内では、佐世保市でも学習会が開催されました。

大分 永山茂樹氏、自民党改憲草案の緊急事態条項問題点指摘

平和憲法を守る会など7団体の主催する憲法記念日講演会が大分市で開催されました。永山茂樹東海大法科大学院教授が講演。約350人が参加しました。

永山教授は、自民党「改憲草案」の「緊急事態条項」第98・99条について、議会制民主主義の否定、基本的人権の制限などが記されていることを指摘。「戦争しやすい国にするために、あらかじめ障害となる国民の抵抗を取り除くことが目的だ」と告発しました。

高知 5・3 憲法施行69周年県民の集い 270人

今年の憲法集会は、戦争法に反対して運動してきた12団体のうち11団体が共同で開催し、270人が参加しました。5月3日雨の中、高知会館には続々と参加者が集まり、熱気ある集会となりました。山内敏弘・一橋大学名誉教授が「憲法改悪の動向と立憲民主平和主義の課題」と題して講演。山内氏は、憲法に違反し、平和主義、立憲主義、民主主義に違反する安保法制の問題点、その一環でもある秘密保護法とメディアの問題、自民党改憲草案の内容についても詳しく話されました。震災に便乗して導入しようとしている緊急事態条項についてその危険性、海外との比較も指摘、内閣の独裁を許してはならないと強調しました。集会後に予定していた街頭宣伝行動は風雨が強まり中止しました。